

<p>上海通信 上海日本人学校 浦東（プードン）校</p>	<p>上越市立城北中学校生徒向け通信 松井的上海</p>	<p>第14号 令和3年9月13日 発行者 松井 明</p>
---------------------------------------	---	--

お世話になっている中国の人々①

上海には多くのコミュニティ（地域社会）があります。上海に駐在している日本人の多くは、日本人コミュニティに属しています。例えば、職場、県人会、同好会など、日本人が集まって仕事をしたり、情報交換をしたり、趣味を楽しんだりしています。私もいくつかの日本人コミュニティに属しています。しかし、あることがきっかけで、多くの中国人の方と仲良くなり、お世話になっています。そのきっかけとなったのが于平（ユーピン）さんです。于平さんとの出会いは運命とも言えるものでした。

私は、新潟県人会と青森県人会、福井県人会に入会しています。県人会の多くは、その県とゆかりがあれば入会できます。青森県人会は弟が青森で生活しているから、福井県人会は大学時代に福井で生活していたから、それぞれ入会しています。新潟県人会は当然ですね。青森県人会に参加していた時、一人の男性と話をする機会がありました。名前は于平（ユーピン）さん、中国人です。彼は日本語がとても上手でした。私はどこで日本語を学んだのか聞きました。于さんは、「日本の大学に留学していました。」と言いました。以下、于さんとのやり取りです。

- 松井：「どこの大学に留学していたのですか？」
 于さん：「福井大学に留学していました。」
 松井：「えっ、私も福井大学出身ですよ！」 「何学部でしたのですか？」
 于さん：「教育学部です。」
 松井：「えっ、私も教育学部ですよ！」 「専攻は何ですか？」
 于さん：「技術です。」
 松井：「えっ、私も技術ですよ！」 「いつ大学にいたのですか？」

于さんと私が福井大学教育学部技術専攻にいた期間も一致しました。その瞬間、「あ〜っ、いたいた！」とお互い同級生であることがわかりました。私が于さんの顔を見てすぐに思い出せなかったのは、于さんは大学時代、授業が終わるとすぐに隣の市の留学生寮に帰宅していたので、私たち日本人学生との関わりが少なかったからです。しかし、お互いの存在は分かっていた。

それにしても、福井という地で一緒だった同級生が、30年後に約束もせず再会するとは、偶然にしては出来過ぎていると思います。これは運命としか言いようがありません。

ちなみに于さんは、大学を卒業後、岐阜大学大学院で博士学位を取得。その後、日本のソフトウェア会社に就職してから上海へ戻り、ソフトウェアの会社を起業しました。現在、その会社は社員に仕事を任せておけばいいほど大成功し、于さんは自分が成功したのも日本のおかげだと、中国の会社と日本の会社をつなぐ「上海経営者協会」を組織して、中国と日本のビジネスがスムーズにできるようにと奮闘しています。上海経営者協会は月に一度研修会を開き、名刺交換や商談の機会を設けています。私もこの上海経営者協会に招待していただき、多くの日本人ビジネスマンや中国人ビジネスマンと交流をもつことができています。于さんとの30年ぶりの再会が、私の上海生活をより豊かにしてくれています。



30年ぶりの同級生との再会
于平（ユーピン）さん（左）と私（右）